

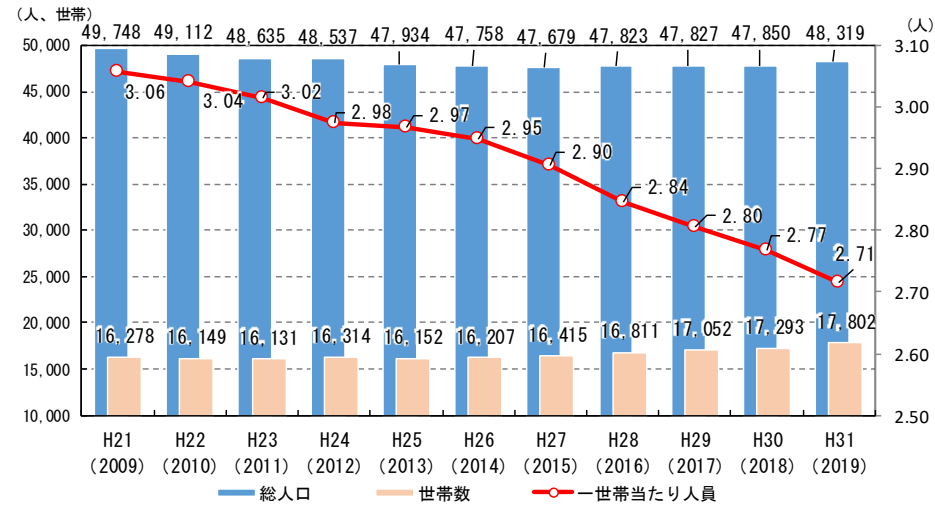
1 第1期人口ビジョンの点検結果について

《第1期人口ビジョンの将来展望》

- 出生率を高める：合計特殊出生率：2014年1.66→2035年2.06を実現
- 移動率を改善する：①10代後半の転出者の30%が20代になった時にUターン ②30～50代の転出者を70%に抑制（10歳未満の転出者を80%に抑制）

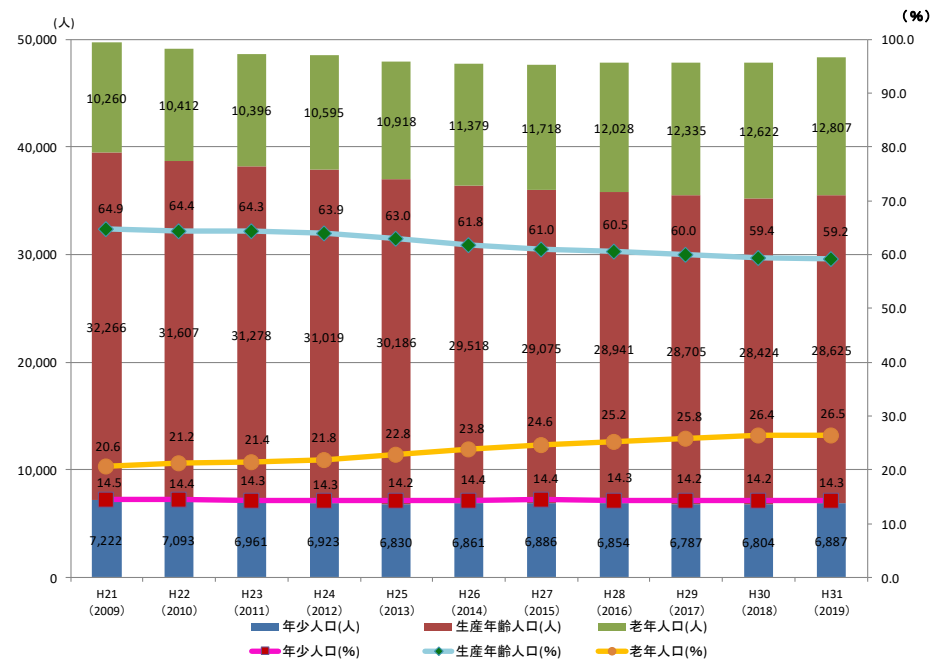
■本市の人口は緩やかに増加。年少人口は横ばい、生産年齢人口が減少し、老年人口は増加。

図1 人口・世帯数の推移



資料：菊川市住民基本台帳(各年3月31日現在)

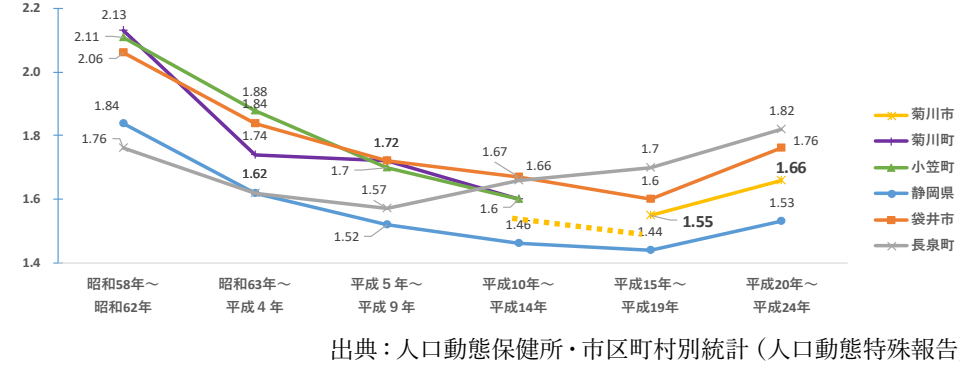
図2 年齢別人口割合



資料：菊川市住民基本台帳(各年3月31日現在)

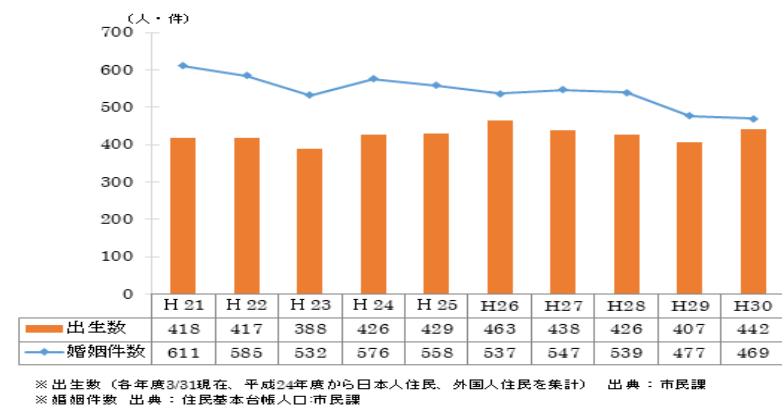
■合計特殊出生率は県平均より高い。出生数はほぼ横ばいである一方、婚姻件数は減少。

図3 合計特殊出生率の比較



出典：人口動態保健所・市区町村別統計(人口動態特殊報告)

図4 出生数と婚姻件数の推移



※出生数(各年度3/31現在、平成24年度から日本人住民、外国人住民を集計) 出典：市民課
※婚姻件数 出典：住民基本台帳人口・市民課

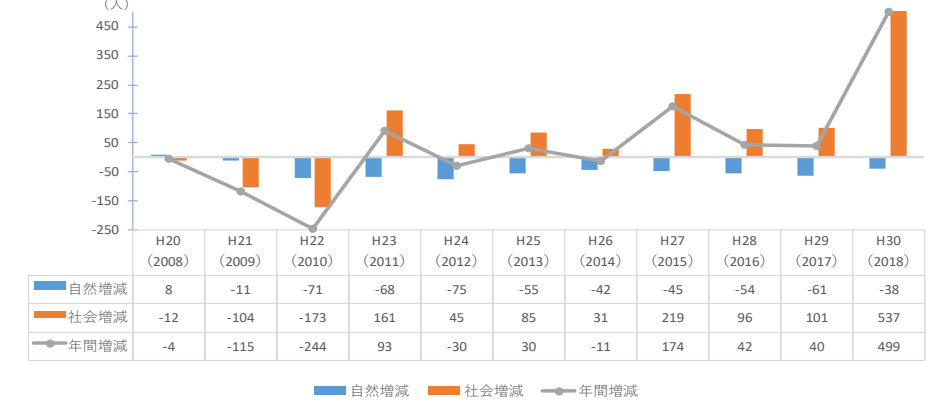
■目標としている年代において人口が増加している。

年齢	H26	H31	差	
0～4歳→5～9歳	2,213	2,281	68	149
5～9歳→10～14歳	2,318	2,399	81	
10～14歳→15～19歳	2,330	2,337	7	
15～19歳→20～24歳	2,276	2,278	2	2
20～24歳→25～29歳	2,250	2,538	288	
25～29歳→30～34歳	2,874	3,050	176	
30～34歳→35～39歳	3,070	3,218	148	68
35～39歳→40～44歳	3,415	3,465	50	
40～44歳→45～49歳	3,280	3,250	▲30	
45～49歳→50～54歳	2,739	2,696	▲43	
50～54歳→55～59歳	2,825	2,768	▲57	

資料：菊川市住民基本台帳(各年3月31日時点)

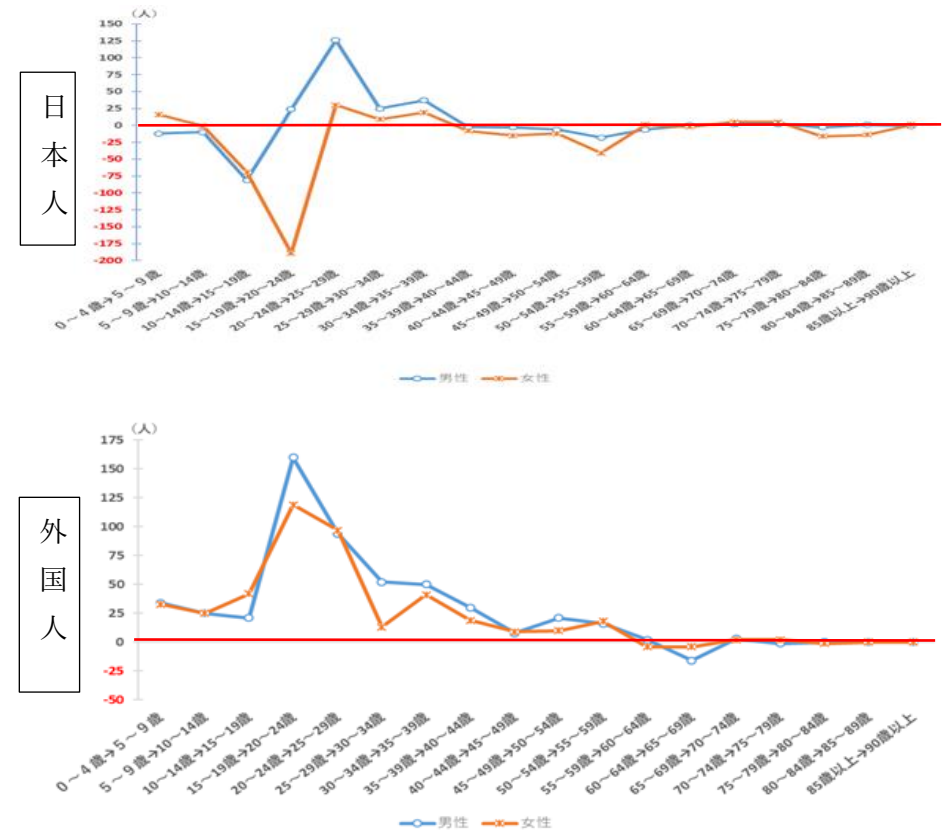
■人口増加は社会増、特に外国人の転入により支えられている。日本人の若年層の女性の転出が顕著である。

図5 近年の人口動態の状況



資料：菊川市住民基本台帳(各年度毎)

図6 平成26年4月から平成31年4月を比較した移動人口



資料：菊川市住民基本台帳(各年度毎)

《達成状況》

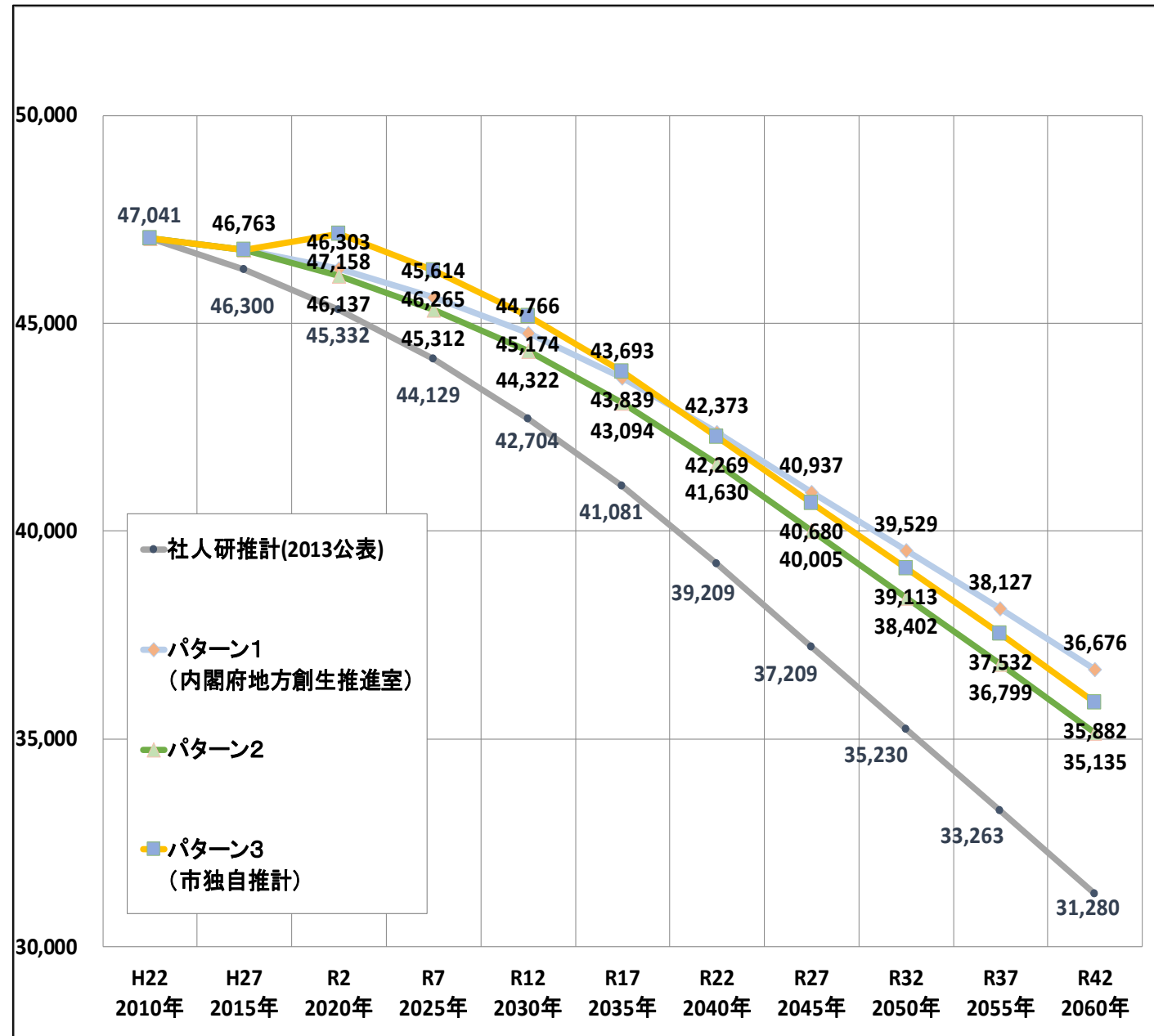
- 合計特殊出生率：ほぼ横ばいの見込み。
- 移動率：目標とした年代において、いずれも人口は増加しているため、転出が抑制されている、もしくは転出者を上回る転入者の増加があると推測できる。

2 人口推計と目標人口について

(1) 人口推計

■パターン1 (2010~2015の国勢調査の人口動向、合計特殊出生率約1.8とした社人研推計準拠)、パターン2 (2010~2015の国勢調査の人口動向、合計特殊出生率1.66)のいずれも2014年公表の社人研推計から改善。

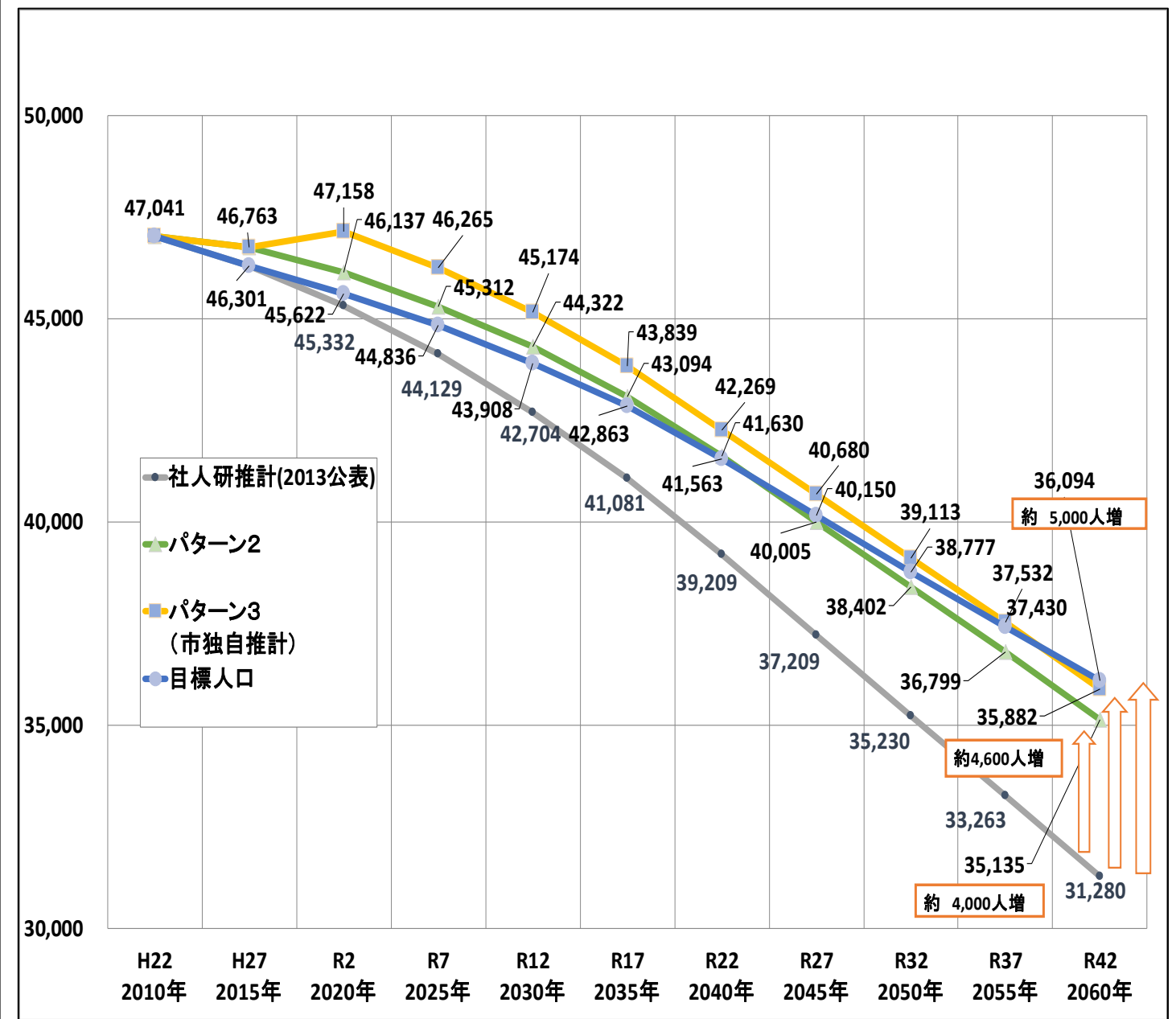
		(単位:人)										
		H22 2010年	H27 2015年	R2 2020年	R7 2025年	R12 2030年	R17 2035年	R22 2040年	R27 2045年	R32 2050年	R37 2055年	R42 2060年
社人研推計(2013公表)	社人研推計(国調2010)	47,041	46,300	45,332	44,129	42,704	41,081	39,209	37,209	35,230	33,263	31,280
パターン1 (内閣府地方創生推進室)	社人研推計準拠(国調2015) ○合計特殊出生率1.80	47,041	46,763	46,303	45,614	44,766	43,693	42,373	40,937	39,529	38,127	36,676
パターン2	社人研推計準拠(国調2015) ○合計特殊出生率1.66	47,041	46,763	46,137	45,312	44,322	43,094	41,630	40,005	38,402	36,799	35,135
パターン3 (市独自推計)	○移動率(住基H26-H31日本人) ○合計特殊出生率1.66 ○基準人口(国調2015日本人)	47,041	46,763	47,158	46,265	45,174	43,839	42,269	40,680	39,113	37,532	35,882
	うち日本人	44,604	44,497	43,708	42,815	41,724	40,389	38,819	37,230	35,663	34,082	32,432
	うち外国人	2,413	2,187	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450



(2) 目標人口

■移動率の改善を維持し、出生率を向上させることにより、現在の人口ビジョン36,000人を引き続き目指す。

		(単位:人)										
		H22 2010年	H27 2015年	R2 2020年	R7 2025年	R12 2030年	R17 2035年	R22 2040年	R27 2045年	R32 2050年	R37 2055年	R42 2060年
社人研推計(2013公表)	社人研推計(国調2010)	47,041	46,300	45,332	44,129	42,704	41,081	39,209	37,209	35,230	33,263	31,280
目標人口	独自推計(2015)	47,041	46,301	45,622	44,836	43,908	42,863	41,563	40,150	38,777	37,430	36,094
パターン2	社人研推計準拠(国調2015) ○合計特殊出生率1.66	47,041	46,763	46,137	45,312	44,322	43,094	41,630	40,005	38,402	36,799	35,135
パターン3 (市独自推計)	○移動率(住基H26-H31日本人) ○合計特殊出生率1.66 ○基準人口(国調2015日本人)	47,041	46,763	47,158	46,265	45,174	43,839	42,269	40,680	39,113	37,532	35,882
	うち日本人	44,604	44,497	43,708	42,815	41,724	40,389	38,819	37,230	35,663	34,082	32,432
	うち外国人	2,413	2,187	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450

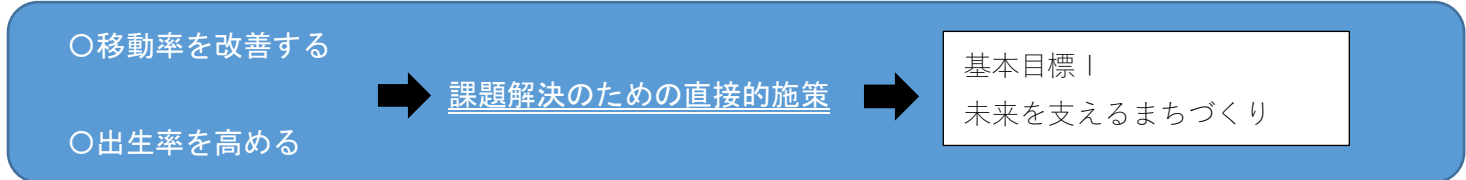


3 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策の方向性について

1. 第1期人口ビジョンの点検結果

1. 移動率が改善し、緩やかに人口増加している。しかし、日本人の若年層の転出が多い。
2. 出生数はほぼ横ばいである。

第1期の**移動率の改善を維持し、合計特殊出生率を2035年に2.06に改善**することにより、第1期に引き続き「**2060年に人口36,000人**」を目指す。



2. 国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

【地方創生の目指すべき将来】

- (1) 将来にわたって「活力ある地域社会」の実現
 - ①人口減少を和らげる
 - ②地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する
 - ③人口減少に適応した地域をつくる
- (2) 「東京圏への一極集中」の是正

【第2期における施策の方向性】

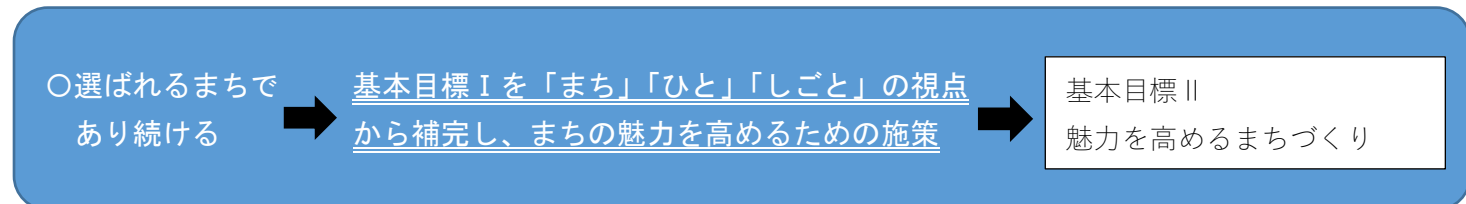
4つの基本目標

- (1) 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする・・・基本施策Ⅱ-2
- (2) 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる・・・基本施策Ⅰ-1
- (3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる・・・基本施策Ⅰ-2
- (4) ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる・・・基本施策Ⅱ-3

2つの横断的な目標

- (1) 多様な人材の活躍を推進する・・・基本施策Ⅱ-1
- (2) 新しい時代の流れを力にする(Society5.0、SDGs)・・・全体に共通する考え方

国の第2期戦略においては、基本目標(4)として「**ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域づくり**」に取り組むとしている。また、地方創生に取り組むにあたり重要な「**まち**」「**ひと**」「**しごと**」の視点からも**アプローチ**し、これらの好循環を目指しながら、まちの魅力を高める。



基本目標Ⅰにおいて、第1期から見えてきた市の課題に取り組むとともに、基本目標Ⅱにおいて、市の魅力を高め、第1期に引き続いて「**2060年に36,000人**」を目指すための第2期総合戦略とする。

また、第2期総合戦略を推進するにあたっては、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえつつ、SDGsの視点を取り込み、持続可能なまちづくりを進める。

3. 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略体系図(案)

基本目標	基本施策	KPI	主な取り組み
Ⅰ 未来を支えるまちづくり	移動率を改善する 1 郷土愛を育み、定住を促進する	①「将来菊川市に住みたい」と思う中学生の割合 ②「菊川市に愛着がある」と思う中学生の割合 ③住宅取得補助制度の利用件数 ④従業者数 ⑤市内への新規参入女性農業者数	①若者のキャリア教育 ②移住・定住の推進 ③就業支援
	出生率を高める 2 結婚・出産・子育てを支援する	⑥「安心して子どもを育てられるまち」と思う市民の割合 ⑦幼児施設入所待機児童数 ⑧特別な教育的支援を必要とする児童生徒に係る「個別的教育支援計画」の策定率	①結婚から子育てまで切れ目のない支援 ②幼児教育・保育の充実 ③教育環境の充実
Ⅱ 魅力を高めるまちづくり	ひと 1 多様な人材の活躍を推進する	⑨要支援・要介護認定を受けていない高齢者の割合 ⑩「男女が個人として尊重され、ともに個性や能力を発揮できるまち」と思う市民の割合 ⑪「文化や国籍が異なる人々がともに暮らしやすいまち」と感じる市民の割合 ⑫観光交流客数 ⑬ホームページ魅力紹介ページのアクセス数	①健康寿命の延伸 ②自己実現の充足 ③多文化共生社会の実現 ④シティプロモーションの推進
	しごと 2 働きやすい環境を実現する	⑭事業所数 ⑮市内への新規参入農業者数	①雇用・労働環境の整備 ②農業の生産力と経営力の強化
	まち 3 安心できる生活環境を築く	⑯「菊川市は住みよいところだ」と感じる市民の割合 ⑰「市民や企業が環境保全に取り組むまち」と思う市民の割合 ⑱「災害に備え防災対策が整っているまち」と思う市民の割合	①都市基盤の整備 ②自然環境の保全 ③防災力の強化

総合戦略体系図（案）※主な事業まで

基本目標	基本施策	KPI	主な取り組み	主な事業
I 未来を支えるまちづくり	1 郷土愛を育み、定住を促進する	①「将来菊川市に住みたい」と思う中学生の割合 ②「菊川市に愛着がある」と思う中学生の割合 ③住宅取得補助制度の利用件数 ④従業者数 ⑤市内への新規参入女性農業者数	①若者のキャリア教育	○小中学生に対する総合計画・総合戦略に関する出前行政講座の実施 ●「菊川ジュニアビレッジ」への協力・支援 ●「中学生ふるさと未来塾」の実施 ●「高校生ふるさとセミナー」の実施 ○大学との連携による取り組み
			②移住・定住の推進	●菊川市若者世帯定住促進補助の実施 ○暮らし案内や移住相談会への参加 ●移住就業支援事業費補助金の実施
			③就業支援	●若者・女性・高齢者の就業支援 ●女性の就農推進 ●高校生や大学生を対象とする「企業見学バスツアー」の実施
	2 結婚・出産・子育てを支援する	⑥「安心して子どもを育てられるまち」だと思える市民の割合 ⑦幼児施設入所待機児童数 ⑧特別な教育的支援を必要とする児童生徒に係る「個別的教育支援計画」の策定率	①結婚から子育てまで切れ目のない支援	●市内の高校生を対象に助産師による「こころとからだ出前講座」の実施 ●結婚に向けた出会いの支援 ●不妊症・不育症治療費の助成 ○「子育て世代包括支援センター」の運営 ●子育てアプリ「まぐすく」による妊婦や子育て世帯に役立つ情報発信 ●こども医療費の助成
			②幼児教育・保育の充実	●認定こども園制度への取り組み ●教育・保育施設の利用者負担への支援 ●幼児施設における預かり保育の実施 ●リフレッシュ・一時保育の実施 ●地域型保育施設の整備検討 ●放課後児童クラブの充実
			③教育環境の充実	●小中一貫教育推進（「学びの庭」構想の推進） ●ICT機器を活用した「まぐすく21世紀型授業」の推進 ●外国人児童生徒に対する初期支援教室「虹の架け橋」の3市による運営 ●ことばの教室やボラ教室、学校学級支援員の配置などの特別支援教育の推進
II 魅力を高めるまちづくり	1 多様な人材の活躍を推進する	⑨要支援・要介護認定を受けていない高齢者の割合 ⑩「男女が個人として尊重され、ともに個性や能力を發揮できるまち」だと思える市民の割合 ⑪「文化や国籍が異なる人々がともに暮らしやすいまち」だと感じる市民の割合 ⑫観光交流客数 ⑬ホームページ魅力紹介ページのアクセス数	①健康寿命の延伸	●地域包括支援センターの運営 ●在宅医療と介護の連携促進 ●近隣病院・診療所・介護・福祉施設等との連携推進 ●多職種事業との連携による在宅医療の提供 ●筋・食・口・認でフレイル予防～高齢者への介護予防等の推進～ ●誰もが取り組めるスポーツイベントの開催
			②自己実現の充足	●地域で活動している市民団体等を支援する市民協働センターの運営 ●NPO・地域づくり団体等への支援 ●連携協定締結による各種事業の協力・連携 ●民間との共創窓口設置・運営 ●幼少期からの男女共同参画の意識啓発 ●障害者差別解消法の推進
			③多文化共生社会の実現	●外国人住民相談窓口の設置・運営 ○多言語による情報発信（広報紙、市からのお知らせ通知、茶こちゃんメール等） ●外国人児童生徒に対する初期支援教室「虹の架け橋」の3市による運営（再掲） ○小中学校への外国人支援員の配置 ○日本語教室等の講座や交流イベントの開催・支援 ○多文化共生サポーター制度の推進
			④シティプロモーションの推進	●菊川市魅力発信事業 ●NPO・地域づくり団体等への支援（再掲） ●地域資源を活用した交流の促進 ●茶交流体験促進事業の実施 ●環境負荷を軽減した世界農業遺産「茶草場農法」の推進 ●誰もが取り組めるスポーツイベントの開催（再掲）
2 働きやすい環境を実現する	⑭事業所数 ⑮転換作物作付面積	①雇用・労働環境の整備	●企業誘致に向けた取り組みの推進 ●市内遊休地情報の収集及び情報発信 ●若者・女性・高齢者の就業支援（再掲） ●高校生や大学生を対象とする「企業見学バスツアー」の実施（再掲） ●創業支援セミナーの開催 ●事業承継の推進	
		②農業の生産力と経営力の強化	●地域特産物の推進 ●複合経営の推進 ●耕作放棄地対策 ●女性の就農推進（再掲） ●若手茶生産者の育成	
3 安心できる生活環境を築く	⑯「菊川市は住みよいところだ」と感じる市民の割合 ⑰「市民や企業が環境保全に取り組むまち」だと思える市民の割合 ⑱「災害に備え防災対策が整っているまち」だと思える市民の割合	①都市基盤の整備	●中心市街地の賑わい創出事業 ●JR菊川駅周辺地区の整備 ●コミュニティバスの運行 ●掛川浜岡線バイパス、幹線市道の整備事業 ●都市公園等の整備・維持管理 ●空き家対策事業の推進	
		②自然環境の保全	●太陽光発電システム、太陽熱温水器、リチウムイオン蓄電池などの設置の推進 ●リサイクル活動推進事業 ●ふじのくにCOOLチャレンジ「アースキッズ事業」の実施 ●公共下水道接続の推進 ●合併処理浄化槽設置の推進 ●菊川かわまちづくり事業	
		③防災力の強化	●プロジェクトTOUKAI-0事業 ●防災・防犯等市民に役立つ情報を配信する「茶こちゃんメール」の登録推進 ●地区防災組織との連携強化 ●消防団員の環境整備推進事業 ●防災ステーションの整備 ●防災資機材等の整備・管理 ●緊急車両の整備・管理	

●…これまで案にあった事業

○…今回追加した事業

※削除した事業

- 乳幼児健診や相談など母子保健事業の充実→「「子育て世代包括支援センター」の運営」に含める
- 子育て支援センター「たんぼぼ」「ひまわり」と児童館の運営
- 子どもの成長に合わせた発達支援の実施→「「子育て世代包括支援センター」の運営」に含める
- 多子（第3子以降）世帯への支援
- 「1%地域づくり活動交付金事業」の実施→「NPO・地域づくり団体等への支援」に含める
- 市民主導イベント支援事業→「地域資源を活用した交流の促進」に含める